

2011年11月  
第 33 号



# わがまち下倉田

発行責任者： 会長 吉原 鋭一  
下倉田町内会  
編集責任者： 中澤 清  
広報文化部 TEL 045-864-1940  
印刷所： (有)豊田印刷所

## 第一明治会の活動



第一明治会会長 金子 市男

第一明治会は、下倉田町内会  
会員世帯の六十歳以上の方で構  
成される老人クラブで、会員数  
は五十七名(男性十七名・女性四  
十名)です。

当会は、昭和三十七年に設立  
され、会員の相互親睦・健康増  
進・地域奉仕などを目的に各種  
の行事や活動を行っています。

まず、毎月十日に定例会を開  
催し、市や区の老人クラブ連合  
会からの情報提供や各行事の連  
絡調整を行い、合わせて誕生日  
の会員に祝品を贈呈しています。  
その後、親睦会となります。

また、特別会として、五月の  
地藏尊祭礼への協力・参加。七  
月の暑気払い・町内会納涼夏祭  
りの参加、九月の長寿会、一  
月の新年会を開催しています。

クラブ活動は、毎週二回のゲー  
トボール・ペタンク、月三回の  
カラオケ、その他に健康散歩と  
して、春と秋に近郊に出かけて  
います。

地域奉仕活動は、下倉田第五  
公園および南谷バス停の清掃を  
毎月一回実施するほか、豊田小  
学校でお手玉などの昔あそびや  
裁縫のお手伝いをしています。

さて、当会は、来年五十周年  
を迎えます。今後ともよろしく  
お願い申し上げます。

## 私のふるさと下倉田

渡辺 良子(旧姓吉原)

下倉田からこの山梨県南アル  
プス市に嫁いで今年でちょうど  
四十年になりました。

南アルプスと言うと山の中だ  
と思われそうですが、遠くに三  
千メートル級の山々に囲まれた  
甲府盆地の真中にあり、甲府駅  
まで車で十五分の便利なところ  
です。

この原稿を書くにあたり、南  
アルプス市に頼まれて「私のふ  
るさと横浜に生まれ今、故郷を  
想う」を書かせていただいたこ  
とを思い出しました。

主人は五年前に郵便局長を退  
職し私と一緒に果物作りに励ん  
でいます。果樹王国山梨ですの  
で我が家でも「さくらんぼ、桃、  
スモモ、梨、ブドウ、柿、キウ

イフルーツ」一年中の果物を作っ  
ています。

三年前には豊田小学校の同級  
生十人が一泊で桃狩りに来てく  
れ、畑で「こんな大きな桃、初  
めてだ」と感激してくれ、食べ  
たり持ち帰ったりしていただき  
ました。

子供が幼稚園の頃には下倉田  
の実家に泊まり、甲子園野球の  
日程にあわせて子供の手を引き、  
必ず三連戦横浜スタジアムへ足  
を運びました。これが幸いした  
のか夢の甲子園へ春夏連続出場  
ができ、春はベスト四、夏はベ  
スト八まで勝ち進みました。こ  
の経験は、これからの子供の長  
い人生にとって計り知れないも  
のをもたらしてくれました。

今年もまた、十一月にクラス

## 地域交通安全活動について

地域交通安全活動推進委員 米山 孝夫

戸塚警察署管内で左記の項目  
について活動しております。

- 一、一月の箱根駅伝マラソンの  
交通整理
- 二、四月、新入生登下校中の見  
守り
- 三、広報車によるパトロール・  
南谷戸⇄鋼管下
- 四、八月、柏尾川での灯ろう流  
しの時の安全パトロールと  
交通安全
- 五、町内祭礼でのみこし御渡り  
時の交通安全
- 六、日暮れ時の早期ライト点灯  
キャンペーン
- 七、戸塚区マラソン大会の交通  
整理
- 八、その他、下倉田町内会より  
依頼がある際の出席と種々  
の見守り活動やパトロール等

## 会館改修工事始まる

副会長 吉原 晃

十数年来の懸案となっていま  
した、下倉田町内会館の改修工  
事が、いよいよ十一月半ばから  
来年三月初めまでの予定で行わ  
れます。

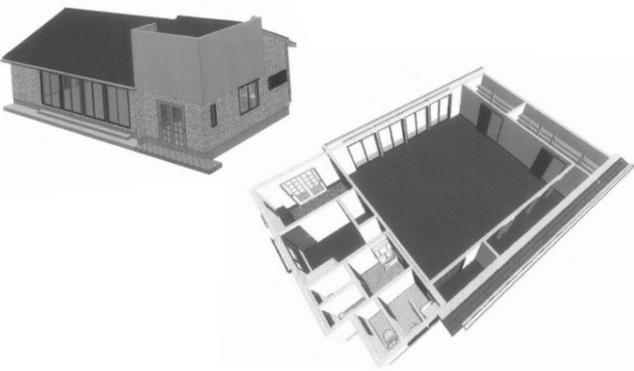
今回の改修目的は、耐震性の  
強化、利用に際しての快適性の  
追及です。

耐震性の強化については言う  
までもありませんが、三月十一  
日の東日本大震災を踏まえて、  
今後の地震風水害にも十分耐え  
られるように、強固な耐震性を  
付加した建物とします。ちなみ  
に、現会館は昭和三十七年十一  
月に竣工し、平成元年に一部改築  
を経た建物です。

利用に際しての快適性につい  
ては次のようなことが言えます。  
従来会館利用者は、畳に座布

団を敷き座って利用してきまし  
た。これでは、長時間の利用に  
はかなり苦痛が伴いました。さ  
らに高齢化が進んだ昨今、多数  
の会員の方から「長時間座って  
いると足腰が痛くなる。フロア  
リングにして、椅子机での利用  
が出来ないものか」というご意見  
がありました。それ故、現会館の面  
積は保ちつつバリアフリーとし、  
床はフロアリングを採用、椅子に  
座っての快適な利用が可能とな  
ります。また、トイレは完全に男  
女別となり、収納スペースも十  
分にとってあり効率よく備品も  
整理できます。

改修工事期間中はご不便をお  
かけしますが、竣工にご期待く  
ださい。



なお、工事期間中の定例会は  
下倉田交番前ブロードスクエア  
戸塚自治会の会議室をお借りし  
て、開催します。

会があり、下倉田にお邪魔させ  
ていただきます。昔の下倉田の  
面影もすっかり変わり淋しく感じ  
られますが、「横浜」という言葉  
を耳にすると胸に「キーン」と  
くるものがあります。

自分の知っていた下倉田が知  
らない下倉田に変わっていくの  
を見るにつけ淋しい気持が半分、  
下倉田がこんなに発展していく  
という誇らしさが半分という複  
雑な心境です。

四季折々の豊富な果物、空気  
も美味しく、かけがいのない家  
族、友人に囲まれ充実した毎日  
を送っております。

私のふるさと「下倉田」を心  
の糧としてこれからの人生、生  
きていきたいと思えます。

今回は、箱根駅伝マラソンに  
ついてご紹介したいと思います。

このマラソンは、日本橋をス  
タート(国道一号线(戸塚は一部  
バイパスを通る)→箱根芦ノ湖を  
往復するコースです。

我々が担当する交通整理は、  
不動坂付近です。

応援にかけつけた方々は、体  
や首を前に出して今か今かと待っ  
ております。この時が一番気に  
なるところです。私たちは、ラ  
ンナーと応援者の接触事故が発  
生しないよう警備します。全ラ  
ンナーと応援者が、安全で怪我  
も無く終了したときが、一番充  
実したときです。

その他いろいろと行事もあり、  
毎日のように車や徒歩で交通の  
見守りやパトロール等をしてい  
ますので、どこかでお会いする  
事もあるかと思えます。これか  
ら地域の安全に努めてまいり  
ますので、今後ともよろしくお  
願いいたします。

# グラウンド・ゴルフをやってみませんか

加藤 恭四郎

グラウンド・ゴルフはゴルフをアレンジしたスポーツとして昭和五七年(一九八二年)に鳥取県の泊村(とまりそん)という小さな村で創案されました。以来生涯スポーツとして愛好者の数は全国で七十万人ともいわれています。

専用のクラブ・ボール・ホールポスト・スタートマットを使用し、ゴルフのようにクラブでボールを打ち、ゴルフの穴に相当するホールポストへ何回か打ってホールインするのを競うスポーツです。

現在プレーしているグラウンドは、中央公園、倉田小学校、小松ヶ丘公園で各週一回ずつ行っています。

私は平成二十一年四月に倉田グラウンド・ゴルフクラブ(池田義和会長、会員四十名)に入会し、今日で二年半になるうとしています。

この魅力は、何といっても老若男女、体力、運動能力、技術などに影響されることが少なく、誰もが勝つチャンスがある

## 「錦鯉を愛する」

吉田 忠夫

子供の頃、鎌倉八幡宮や円覚寺に遊び、優雅に泳ぐ錦鯉の群れに見せられてしまった。

その時の感動が忘れられず、昭和四〇年の結婚を期にようやく池造りの夢が叶い、以来四十年近く鯉に悩まされ、鯉に励まされ、我が家の生き甲斐となっている。

理想の池泉を求めると二度、平成二年に水量二十五トン、最深部一・五m、浄化槽二基、強制濾過機一基の地泉がようやく完成し現在に至っている。



この間品評会では数回入賞することも出来、これを機会に、錦鯉に馳せる夢は成魚にとどまらず、仔採りに興味を持ち、還暦を迎えて幼鯉池を造り、今更ながら生産者の苦勞を感じている。四季折々の花や夜半の月を眺めながら、手塩にかけた錦鯉の泳ぐ姿に一喜一憂している毎日である。



事と健康な体力づくりができ且つ仲間との交流を深めることができることでしょうか。ともかく参加したその日から楽しくプレーができ、時には好スコアで上がることもでき、その時の喜びは格別です。そしてクラブでボールを打った時のカーン!という快い打球音、一発で入った時、即ちホールインワン、このときの快感はそれはもう何とも言えないものがあります。グラウンド・ゴルフの場合は、普通のゴルフとちがってこのホールインワンの出る確率が高く初心者にも十分そのチャンスがあります。私もすでに十数回経験しています。

## 加齢と趣味

米尾 之男

私が三十代の頃読んだ本の中に、「人間は、自分の仕事の他に、静・文化的な趣味(書道・絵画・読書・音楽等)と、動・趣味としてのスポーツ(テニス・ゴルフ・スキー・ジョギング等)の二つの趣味を持ち続けて行けば、充実した人生を送ることが出来る」とあり、これを実践してみようと思いました。

現役時代は、仕事中心の生活のため、静・読書 動・ジョギング・ゴルフをするのが精一杯でした。六十歳の定年を機に、静はヤマハ音楽教室でピアノを習い、動はスポーツジムに入会し、定

## 妖怪・伝説物語

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく

古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。

今回はその、聞かれた妖怪・伝説の扉を開き、取材した摩訶不思議な話を、報告していきます。

第一章：狐の話 プロローグ 現在の明治学院大学付近は、その昔、大学も家もマシジョンも無く山と綺麗な水を湛える紅葉滝しかありませんでした。下倉田から現戸塚駅に向かう近道として、当時の人々はその山道を仕事に行き返り使ったそうです。

第一章の巻(女性が裸で?) 私の祖父の話でございます。ある日仕事の帰りに戸塚駅方面から帰路につきまして、山道を通った時のことでした。

期的に運動するよう心がけてきました。また、何か社会への恩返しを

との気持から、横浜にあるNPO法人に日本語教師として登録し、国際交流活動にも参加しながら、七年間で二十数カ国の外国人に、日本語を教えました。この第二の仕事を始めるとに よって、仕事と趣味のバランスに苦心することになりましたが、加齢とともに仕事から運動・趣味にウエイトを移しつつ現在の生活に至っています。

年を取ってからの趣味は、今更こんなことをしなくても、と躊躇しがちですが、「恥はかくためにある」と自分に言い聞かせながら、やりたいことがあったら、まずやってみることをモツ

後ろから赤い腰巻を付けた、はだか同然の女性が追っかけてきたような。

家にやっこと逃げ帰ったとき、腰につけた昼飯の残りが無くなっていたような。

狐が握り飯の残りを狙い、化かされた祖父はしゃべっていったような。

○この話がある妖怪探訪家の先生に話したところ、「それは、姑獲鳥(うぶめ)《注一》という妖怪ではないか?」と言っていました。

注一・うぶめという妖怪は子供をおなかに残しながら死んだものが、未練を残し妖怪に変化したもの

第一章の式 (全然家に辿り着けない) 下倉田在住のM・Yさんから聞いた、お父様の話でございます。場所は同じ明治学院大学付近のことでした。

大祖父と岡じて仕事からの帰り、間違えるはずのない、いつ

トーにしました。絵画教室・スキー・太極拳・ウクレレ教室と 思いつくまま、取り組んでみました。

さらに七十歳の古希を迎え一念発起、登山に挑戦する事にし、神奈川県内の登山グループに入会し、日帰りハイキングから始め二年目には北アルプス唐松岳・三年目には同じく北アルプスの鹿島槍ヶ岳に登ることが出来ました。

しかし、七十歳を過ぎての三千米級の登山は厳しく、今年からは体に無理をしない程度の二千米以下の低山ハイキングを楽しむようにしています。現在は、①仕事 ②静：ウクレレ・カラオケ・読書 ③動：スキー・水泳・ハイキング・太

もの山道を帰る途中、同じ道を何度か何度もぐるぐる回り、家に帰れなかったような。

慌てながらも、狐に化かされていると感じたのでございませぬ。彼は狐がタバコを嫌うと心得ており、タバコを口に銜えプカプカ吸い続けたところ、自分の家の明かりが見えたような。

第一章：エピソード(解説) 私が考察するに、これらの話は、化かされた人の年齢から考えると今から五十年〜一〇〇年前のこと、それ以前の記録は確認できないが、実際あったと考えられる。他にも化かされた人は複数名いることが分かっていることから、人を化かす狐は存在しており、それは現明大付近の山の主ではと推定できます。

京都の九尾の狐ほどの悪さはしなかったものの、強い力の妖怪と考えられ、それが、山の開泰によって、住みにくくなった主の狐は、人の居ない山へ逃げ

て行ったと思われます。(推定、

極拳 と、この①③のバランスを上手く取りながら、生活しています。

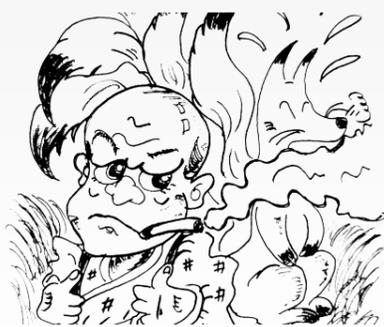
聖路加病院の日野原重明先生が、「七十五歳になったら、何か新しい趣味にチャレンジしてください」と言っていますので、私も七十五歳になったら現在の趣味に、静を一つ、動を一つ加えてみようとして現在模索中です。人間八十歳過ぎまで元気で生活していると、いざ寝込んでも闘病生活が短く終わることが出来る、と何かの本で読んだ記憶があります。

これからも、PPK(ピンピッコロ)を目標に、大いに恥をかきながら、趣味を楽しみたいと思っております。

今頃、丹沢の深山にて温泉に浸りながら、人間の化かし方を考えてるような。

追記(お知らせ・お願い) 下倉田・戸塚周辺 妖怪・伝説物語、次回も摩訶不思議なお話を取材し紹介していきます。(えっ、これ、シリーズ化?) 町内会の方で不思議話があったら、どんな話でも構いません、ぜひ町内会に連絡お願いします。どこでも取材お伺い致します。多分私も妖怪だった

下倉田町内会 体育部長 吉原 憲孝 (文とイラスト)



### 納涼夏祭り

第三班班長 河野 和子

東北大震災の復興が進まぬ中、各地で「がんばろう日本」を掲げて、色々なイベントが開催されています。夏祭りもその一つです。

下倉田町内会の「納涼夏祭り」も地域を代表するイベントの一つです。今年は、雨天順延で日曜日開催となりましたが、会場整備のため水溜りには砂を入れ、一般席のシートをギリギリまで敷き、準備万端整えて予定通り開催する事ができました。役員、各部、子供会の方々他多くの皆様のご協力ありがとうございました。

当日は、放送係を担当させていただきました。ありがとうございました。終了まで演技、ゲーム、演奏、盆踊りを楽しませていただきました。また、今年は提灯が新調され、会

### 八幡神社祭りに寄せて

第七班班長 栗原 好子

石段の両側にならべられたぼんぼりは、詣でる人の気持ちをたかぶらせてくれる。

残暑はきびしかったが、天候に恵まれて、夕方になるとお祭りは徐々に盛り上がってきた。抽選券を渡す手もいそがしく、境内は大勢の人で賑わってきた。どの顔もうれしそうにみえた。

メインの演芸大会は、バンド演奏、フラメンコ、舞踊と多彩で、出演の皆様方の特技に日頃の習練があつてこそと感じつつ見させていただきました。

抽選の当選者発表では、当たった人、はずれた人の喜び、残念の喚声が沸き上がり、宵宮の締

場は一段と明るさが増したようでした。盆踊りの練習には沢山の方々に参加していただきましたが、本番ではちよつとさびしいものでした。放送で皆様呼びかけましたが、残念ながら踊る方は増えませんでした。もつと沢山の方に踊りを楽しんでいただくには：何か工夫が必要でしょうか。今後の課題としたいと思います。



めくくりに対応しい賑わいでした。一年に一度の夏の夜の楽しみはこうして終わりました。いま東日本の大震災や紀伊半島の大水害を思うとき、こうして無事にお祭りが出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。



### 残念ながら中止となった運動会

第十回下倉田地区連合会スポーツレクリエーション大会は、前

日の大雨のためグラウンドコンディションが悪く、十月十六日と、順延して二十三日とも中止となりました。

当大会が発足以来中止となつたのは今回が初めてのことです。昨年は下倉田町内会紫チームが初めて優勝し、今年も張り切っていました。この熱い思いは来年まで持ち越すことになりました。



### 運動会は中止になったけど



### 神輿

九月十日には、下倉田八幡神社にて宵宮がおこなわれ、翌日には御輿の渡御が行われました。御輿を担いだ人達から感想をいただきました。



### 子供御輿を担いで

下倉田ケアプラザ 石田ゆかり

ハッピー、甚平姿で続々と集まってくる子供達。豆絞りの手ぬぐいを首にかけ、準備万端、出発を今か今かと待ちわびる。

出発の乾杯も終わり、子供達も位置に付き「出発！」の掛け声が待ち切れず「ちよつと持ち上げてみよう、軽いね、余裕余裕」「子供たちだけで大丈夫だよ」「いよいよ「出発！」」「あれ？意外と重い」わっしょいの声も途切れがち・・・初めての御輿重かったね。

### お御輿について

蕾家 久保田 洋

下倉田で焼鶏屋を開いて、三年と半年。初めてお御輿を担がせていただきました。

残暑の残る、厳しい暑い日ではありましたが、非常に活気があり、みなさん楽しそうでした。しかし、よく見ると、若い人の数がちよつと少ないように思えて少し残念でした。自分も「若い？」と思うので、来年もこの盛り上がり絶やさない様に頑張つて、また参加したいと思えます。

### 「坂の上の雲」バスツアー&ウォーク

NHKの長期放映スペシャルドラマ「坂の上の雲」は十二月の第三部で最終シリーズになります。最後の舞台は日本海海戦が中心となりますが、この日本海軍ゆかりの地、横須賀、三浦半島を日帰りで見学します。(担当：体育部長 吉原憲孝)

工程：三笠公園(連合艦隊旗艦三笠見学)、どぶ板通り見学、城ヶ島公園(食事・散策)、三崎「うらり産直センター」・JA「すかなごっそ」(買い物など)

開催日時：2011年11月23日(水：祝日)9時から17時予定  
集合場所：豊田中学横、下倉田ハートクリニック付近  
参加費用：大人2000円、子供(中学生以下)1500円(バス料金、施設入場料含む)



# 地震が起こったら

戸塚消防団 第七分団 副分団長 吉原 薫

三月十一日に東日本大震災が起きました。近い将来には首都圏直下型や東海・東南海・南海の三連動型地震が起きる可能性が高いと言われています。

地震は時間と場所を選びません。地震が起きたら何をしなければならぬのか、また何をしなければいけないのか、いざという時の心がけと適切な行動で被害を小さくすることが出来ます。突然、大きな地震が起こったら、次の行動を取るよう心掛けてください。

まずは自分の身の安全です。ケガをしたら次は次の行動がとれなくなってしまう。丈夫なテーブルなどの下に隠れてまず自分の身を守りましょう。すばやく火の始末をしてください。小さな火でも大きな災害を生みます。小さな地震でも火を消す習慣をつけましょう。もし火が出たら落ちていて消火しましょう。大災害にならないためにも初期消火はとてども大事です。

ドアを開けて避難口の確保をしてください。建物がゆがみドアが開かなくなり避難口の確保が出来ないと危険です。特に中高層住宅では避難口の確保は重要です。ただしあわてて屋外に飛び出すのは危険です。周囲の状況をよく確かめてから落ち着いて行動しましょう。

屋外では、ブロック塀や自動販売機が倒れたり、窓ガラスや看板などが落ちてくる事があります。周辺の状況に注意しましょう。山崩れ、崖崩れ、津波が発生しそうな地域ではすばやく避難しましょう。避難は車などの使用はさけ、

**下倉田町内会 公式ホームページ見てください**

下倉田町内会のホームページを今年の6月から立ち上げています。色々な下倉田町の活動などを載せています。是非ご覧ください。

「下倉田町内会 公式ホームページ」と入力してください

<http://shimokurata.web.fc2.com/index.html>

徒歩でしましょう。持ち物は最小限にして、電気のブレーカを落としたりガスの元栓を閉めてから、近隣に声をかけ協力し合い避難しましょう。災害時は、デマなどに惑わされやすくなります。デマに惑わされるとパニックの原因になります。ラジオなどで正しい情報を聞いてから行動しましょう。大きな地震が起きた時には、消防車や救急車がすぐに来られない場合があります。そんな時、近隣の協力は大きな力となります。日頃から町内会などの地域の行事に参加して、近隣との交流を深めておきましょう。いざという時に冷静な行動を取るための地域の避難訓練や防災訓練にも積極的に参加して、消火活動や応急救助などの知識や技術を覚えておくことも大切です。

# 子供会

倉田子供会 相沢和香子

子供会の役員として一年間活動し、たくさんの方との交流や多くの経験をj得ることができました。

子供会の行事の中には、地域の行事と一緒に参加する機会が多くあります。その中で納涼夏祭りは、子供会として出店やゲーム開催をするためとても大きな行事の一つでした。過去の資料を基に売店のおもちゃの仕入れやゲームの進行など、初めての経験で戸惑うばかりでしたが、当日たくさんの子供たちが集まってくれ楽しそうな姿を見ることができ、大成功に収められたと思います。また、諸団体の方の協力を得ながら運営する側の大変さを知ることができ、とてもよい経験になりました。

二十二年度の運動会では、倉田子供会所属の下倉田チームが優勝する事が出来ました。前もって参加者を募った時点では、人数が足りない競技もあり心配していましたが、当日は町内会や地域の方のたくさん協力がありました。幅広い世代で団結して頑張った結果が最高のかたちとして現われ、とても思い出深い経験になりました。

役員として行事をとりまとめることで、大変ながらも子供達の楽しそうな笑顔を間近で見ることができ、充実した一年間を過ごすことができました。これからも子供会を通して、子供達が地域とかかわりたくさんの経験と交流をもって成長していく姿を見守ってゆきたいと思っています。

# 豊田子供会

鈴木規予

私は、平成二十年度に豊田子供会会長を務めさせていただきました。

当初は、大役を引き受けることになり不安でいっぱいでした。しかも、マニュアルがあるわけでは無いので、何から手を付けたら良いかわからず、過去の活動報告に頼るしかありませんでした。それでも年間行事を一つ一つ紐解いていくうちに「いつ、どのように準備を進めていけば良いのか」というのが見えてきて、やっと活動スケジュールが立ち、スタートさせることができました。

総勢八名の役員も、みんな初めて子供会活動に携わったので、ただただ行事をこなしていくのに必死だったように思います。子供会といってもそれだけではなく、町内会や地域の方々と接することがたくさんありました。助成金や廃品回収、お祭りや運動会などを通して助けていただいたり、少しではありますが、協力できた事もありました。どれも子供会役員にならなければ知り得なかった事なので、とても勉強になりました。

毎年役員が入れ替わる子供会ですが、地域の皆様にはとても親切に優しく接していただいた事を覚えています。男子ソフトボールの大会に、助っ人としてはほど遠いですが、参加させていただいた時はとても楽しかったです。他にも、お祭りでの収益に貢献できたことや、廃品回収場所を新設したことで地域の方々に喜んでいただけたことも、思い出の一つです。わからないまま始まった活動

**下倉田町内のキャラクター募集中!**

下倉田町内の象徴として、キャラクターの募集を行っています。Tシャツや小物など記念に残るキャラクターを載せて下倉田の象徴としてイベント等に登場させたいと考えています。

- キャラクターのイラスト  
かわいいキャラ、人でも動物でも植物でもなんでも結構です。愛称や選んだ理由があれば付けてください。
- 対象となる動植物、ものなどの名称・愛称と選んだ理由もお願いします。(イラストがなくても結構です)

採用された方には記念品を贈呈します。年内中に下倉田町内会の役員や組長さんに渡してください。

も、終わってみれば皆様に支えられ、僅かながらお役に立てたようなので、ホッとしております。早いもので、私が任期を終えてから三年が経ちました。あれから今に至るまで、役員全体の子供会活動への意識は高くなり、より良い活動にしようという会則も見直され、マニュアルも作られたそうです。次に繋がるよう代替わりのために環境が良くなるということ、とても素晴らしい事だと思えました。今後地域と関わりながら、楽しく活動できる子供会であって欲しいなと思っております。これからも豊田子供会をよろしくお願いいたします。

**編集後記**

下倉田に住んで三十年になります。最初は静かで落ちついた町という印象をもちましたが、ある時、立派なお屋敷の屋根が瓦でなくトタン屋根でできていることに気がつきました。よく観察すると沢山の家がトタン屋根でできていました。

関東大震災で大きな被害にあつたため重い瓦を敬遠してトタン屋根にしたそうです。

そして今、下倉田に建設された家には、立派な屋根瓦が載っている家が多くなりました。

東日本大震災から八カ月ほどが過ぎました。

もしこのまま一年二年が無事に過ぎれば、貴重な大震災で得た経験も薄れ、すっかり油断して、そして何らかの備えも無い時に、ある日突然・・・

と、いう事のないように、まさかの場合にどう行動するべきか、ちよつどの紙面に吉原薫様から「地震が起こったら」の原稿を寄稿いただきました。

是非定期的に、まさかの時にどう行動するかを家庭で話題にしてください。

(編集長 中澤 清)

**今後の町内会主な行事予定**

11月20日(日)	豊田中学防災拠点訓練
12月5日(月)	防災懇談会
12月28日(水)	年末特別激励巡視
1月2日(月)	町内巡回獅子舞
1月8日(日)	新年定例会
1月21日(土)	町内会防災訓練・重要文化財防災訓練
2月5日(日)	健康ボリソング大会
3月吉日	町内会会館竣工式

2012年5月  
第34号



# わがまち 下倉田

G30の先へ  
ヨコハマ3R夢!

発行責任者：下倉田町内会会長 吉原 鋭一  
編集責任者：広報文化部長 中澤 清  
TEL 045-864-1940  
印刷所：(有)豊田印刷所

## 新しい町内会館 — 改修工事終わる

4月14日(土) 新しい町内会館で、早速、総会が開かれました



## 会長挨拶



下倉田町内会会長 吉原 鋭一

安全・安心・きれいで誰もが住みやすい下倉田町を目標に、会員の皆様方の協力をいただき役員一同一丸となり、二年間取り組んで来ました。  
この目標に向かって前進してきていますが、まだまだ充分ではありません。  
今年度もこのテーマをさらに推進していく事を、二期目の仕事として取り組んでいきます。  
昨年は、東日本が未曾有の大きな災害に襲われました。  
町内会は、災害地域に会費の一部や夏祭のイベントで協力金

を送りました。  
これからも災害地に、協力していきたいと考えています。  
会員の皆様方の永年の願いであった利用しやすい町内会館が、今年の三月にリホームを終了しました。  
旧町内会館は、耐震性が弱く地震などに危険という事がわかり、リホーム工事を行い基礎や柱などを大幅に補強し、今までの畳からフローリングにかえて会議等椅子に座りながらできるようになり、内部も明るくなり、施設が一段と使用しやすくなりました。  
洗面所が男女専用使用になり、会議はパソコン等を使用し、プロジェクトで写しながらでき

るようになり、安全・快適に会館を利用していただけます。  
町内会館の玄関の旧外灯の上に四月になると、ツバメが帰ってきていました。  
永年町内会館と共に過ごしてきた仲間として、これからも一緒にという願いから、役員みんなで話し合い、ツバメの住居を残す事としました。  
下倉田町内に暮らす人々の、「思いやり」のシンボルになっていければと考えています。  
この旧外灯は、配線を止めてあるので点灯はしません。  
今年もツバメが帰って元気に子育てをしています。  
これからも皆様方の協力をいただきながら住みよい下倉田町をめざしていきますので、よろしくご協力をお願いいたします。

## テレビ共同受信施設組合 発足三十周年を迎えて

下倉田中央地区テレビ組合  
組合長 平松幸四郎

昭和五十七年(一九八二年)明治学院大学戸塚校舎建設に伴い、下倉田町内一部に、テレビ電波受信障害が発生する恐れがあるとの理由で、当大学(日本アンテナ)より、その改善方法について協議したいとの要請が町内会にありました。

本件につき、町内会として交渉役員が選出されましたが、私もその一人として、精力的に交渉努力を重ねてきました。特に問題になったことは、テレビ受信障害範囲の線引きの確定、受信施設等の建設費用の補償問題等、当初より交渉は難航し続け色々苦労がありました。

しかしながら、テレビ共同受信施設が完成し、良質なテレビ映像が我が家にも映った時の感動は、交渉時の苦労も忘れ、喜びと楽しみに変わりました。  
このことは、町内会の皆様方をはじめ、関係者のご理解ご協力によるご支援の賜物と深く感謝をしております。

その後しばらくして、国策により、平成二十三年七月二十四日までにアナログ放送を地デジ放送に移行するとの情報を得ました。当組合としましては、マ

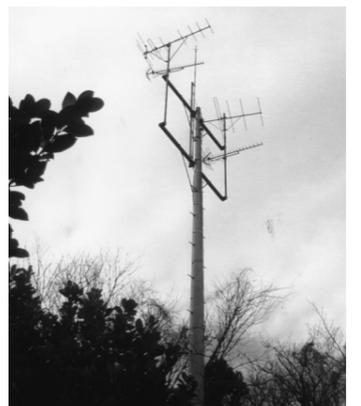
スプロ電工(株)とその改修方法、予算、工期等を協議検討を重ねました。組合員みなさま方の個別事情、利便性を十分考慮し、アナログ電波と地デジ電波の併用方式で視聴できるように早めに改修工事を行い、平成十九年七月一日に完成しました。  
平成二十三年七月二十四日には、予定通り地デジ放送に切り替わりましたが、当テレビ組合

といたしましては、円滑に移行できましたことは、町内みなさま方のご理解ご協力によるものと感謝しております。

今後の課題は、古くなった施設の保守による良質映像の維持と、ケーブルテレビ、光ファイバーの普及進展に伴う組合員の減少傾向(特に集合住宅に顕著)に如何に対応していくかにあります。

前者は、マスプロ電工(株)の協力により従来通りの即応体制で対処していきますが、後者の組合員の減少即ち組合費収入減傾向は、今後の組合活動に重大な影響を及ぼす懸念があります。

もちろん当組合は、長年健全経営を堅持してきており、当分の間は何ら問題は無いのですが、昨今のテレビ、パソコン、電話等から見ての情報化社会の急速な発展、新システム、機器の出現には驚くばかりですので、油断なく今後に対応したいと存じます。状況によっては組合員の皆様方とも十分時間をかけ協議検討していく所存ですので、今後ともよろしくご理解ご協力のほどお願いいたします。



役員紹介



Table listing various roles and names such as 五班班長 内田千鶴, 十班班長 小泉武彦, 廣報文化部補佐 渡辺和子, etc.

写真以外の役員

坂辻 邦夫 (八班班長) 林 淑子 (七班班長) 金子喜久男 (九班班長)
錦 佐喜夫 (総務部長) 河野 和子 (庶務部補佐) 米尾 之男 (監事)
吉田美由紀 (十二班班長) 佐藤 徳 (道路交通部長)

総会報告

4月14日(土)19:30から平成24年度下倉田町内会総会が、新しく改修された町内会館で開催されました。

Table listing officers and their names: 副会長 吉原 範夫, 監事 西澤 正 (元副会長), 庶務部長 吉原 憲孝 (元体育部長), etc.

改修になった町内会館に「語らい・憩いの場」開設 老若男女の参加を!

四月十八日の午後、改修工事を終えて新装なった「下倉田町内会館」で、第一回の「おしゃべりサロン」が開催されました。

唱歌を中心とした歌を合唱したり、おしゃべりやゲームと、参加者が思い思いの時間を楽しみ、新たな出会いの場ができました。

下倉田百景写真募集

下倉田の美しい景色、何気ないタンポポの写真、ホトトギスがいたよ、未だ健在ホタル、などなど募集



4月12日 下倉田協谷公園より

下倉田町内会では、皆様からの「下倉田百景」をテーマにした写真を募集しています。役員で審査し採用された方には、記念品を差し上げ、「わがまち下倉田」新聞やホームページに写真を掲載いたします。



今年一月に成人式を迎え、将来は自活・自立できるように生きていく力をつけ、親からの干渉から開放されるかわりに子として『親を安心させる責任』というものを果たして行きたいと思えます。

20歳を迎えて



米尾 弥紗 今までは平和な毎日を当たり前のように暮らしてきました。

平成23年度下倉田町内会 協賛金協力企業事業所名

- 久保機工(株)
コーケン香料(株)
横浜NKホーム(株)
(株)コムラード
(もえぎケアセンター)戸塚
BAS F コーティングス(株)
トヨタカラーラ横濱(株)
日産プリンス神奈川販売(株)
戸塚下倉田店
山仁商事(株)
(順不同)
(会計 金子昌平)

平成24年度

町内会主な行事予定

- 4月14日(土) 24年度総会
6月10日(日) 町内クリーン活動
7月5日(木) 消防箱取扱訓練
7月28日(土) 納涼夏祭り
9月8日(土) 八幡神社余興
9月9日(日) 神輿渡御
9月17日(月) 敬老祝品届け
10月14日(日) 地区スポーツレクレーション(下倉田中央公園)
11月10日(土) 豊田中学防災拠点訓練
11月17日(土) 町内バス&ハイク
12月5日(水) 防災懇談会
12月28日(金) 年末特別激励巡視
1月2日(水) 町内巡回獅子舞
1月12日(土) 賀詞交換会
1月26日(土) 町内会防災訓練
2月3日(日) 重要文化財防災訓練
健康ポリング大会

會田むかじ語り

「どんど焼き」

金子 正

相州鎌倉郡豊田村字下倉田と云われていた当地は、田畑山と治水に恵まれ、鎌倉街道筋に農家四十数軒が点在する、比較的豊かな山村として栄えていました。従って、当時の村の行事が今も脈々と受け継がれ残されています。

この度、どんど焼きが皆様の目に留まったのを機会に、少し詳細に當時を掘り下げ俚んでみようと思います。

昔はこの辺りでは「サイト焼き」と云い、五穀豊穡を祈り、新年の大きな行事の一つとして何処の村でも行われていました。各家では、新年を迎えるのに、「かじ松」いわゆる、門口両側に竹、若松を立て注連縄(しめなわ)を張り、年始の客を迎える風習がありました。そして正月四日の朝、年始に

来る坊さんが潜らない様、事前にこれを取り除くものと云われ、かど松は三日で終わり、纏めて十四日サイト焼き(どんど焼き)を待つのです。これも縁起を担いだものでしょう。

さて、サイト焼き、ドンド焼き、左義長、何れも、正月の火祭りや土地に依って呼び名が違います。当町のサイトは鎌倉当時の名残のようです。(東洋大学古地図語りより)

道祖神の祭りで、昔は一月十四日、村の三叉路に正月の門松、注連縄(しめなわ)等を燃やして家内安全を祈ったものです。

サイト焼きは家々に依って多少準備の違いがあっても大きな違いは無いと思います。我が家では一月十三日、檜の木の枝を山から採ってきて、米粉を赤、黄、青などに染めて、当時養蚕も盛んでしたので繭の形や野菜の形等、子供達が喜んで作った記憶があります。これらの団子

を枝に飾り付ける楽しみ、土間一杯の枝に、赤黄青白のミカンの咲いた様は見事の一言に尽きる物でした。今様、日本のクリスマスツリーというところでしょうか。そしてこの一枝を、神仏に供え幸せと健康を祈るのです。翌十四日は、村の消防団、青年団が、各家が持ち寄った門松を組み上げて火をつけ、周りには老若男女が団子を持って集まり、この火で焼いた団子を食べると風邪を引かない等、各村々それは賑やかでした。当時はツララの下がる寒さの中、子供達は正月に神棚へ上げた書き初めを燃やし、炎が高く舞い上がる

と上手になると周りで褒められ笑顔いっぱい賑やかでした。只今では、神社の広場で、正月飾りを燃やすことも困難な状況ですが、形を少し変えても、正月の風物詩として残したい一つでしょう。最近は何処でも「どんど焼き」

と云ってますが広辞苑に依れば、どんどは爆竹と書かれています。竹の節が燃える様、撥ねる音が爆竹の様である事から名付けられたものと思います。最後に、新年下倉田八幡神社でどんど焼きに振舞う角餅は、初参り二千人の「來福祈願」がなされたお供え餅を、再び角餅に搗き変えたものです。数に限りがあります。来年はこんな縁起を知って味あうのも一興かと思えます。



妖怪・伝説物語 2

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく

古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。

今回はその第二回、閉ざされた妖怪・伝説の扉を再び開き、報告していきます。

第一章の参

(前回の続き、今度は狐火)

私の大祖父の話でございます。ある日、会合が終わり、家に帰る途中の事じやった。

自宅へは、夜とは言え、迷う事のない一本道だったんだ。

祖父がふと、気づくと広い道を歩いていたらつもりが、田んぼの中をざぶざぶと歩っていたそう。

「しまった、狐に騙された!」と思ったんじやと。

その時じやった、夜の山に数えきれないほどの提灯が並んで見えたそう。

エピソード(解説)

この様に下倉田の人たちで、狐に化かされた事例は多く、当時の人々は前回書いた、化かされたと思っただけでなく、バコをふかすとかで事態を回避していました。

祖母より直接聞いたのは「魚を持ち歩くと、狐に化かされる、もし化かされたら、マツチをすりなさい。狐はリンに弱いから」と言っていました。

第二章:猫の話 プロローグ 歳をとった猫もしっぽが割れてゆき、人をばかします。

狐と並ぶ、妖怪であります。戸塚には狐だけではなく、猫妖怪の話も残っています。



第二章の巻(踊る猫)

場所は市営地下鉄戸塚駅の次に踊り場駅があり、この辺りを踊り場という地名で呼んでいました。

戸塚の宿内に水本屋という醬油屋があったそう。ある時のこと、たくさんある手拭いが毎晩一本ずつなくなっていくんだ。

不思議に思った店の主人が夜見張っていると、猫が手拭いをくわえ、家を出て行ったそう。

後をつけると、近所の猫が集まり踊っていたんだ。

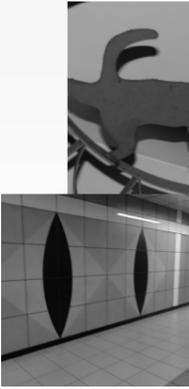
踊るために家から手拭いを持ち出していったそう。

エピソード(解説) 踊り場という地名が付いたのは、この踊る猫たちから来ているものと考える。

又、踊り場駅出口には、猫に取りつかれた女性を供養する碑も今でも立っている。

踊り場駅内には、猫が踊るオブジェや壁に猫の目が書かれており、(写真参照)一度訪れてみても面白い。

最近妖怪が見えるようになった町内会庶務部長 吉原 憲孝 (文とイラスト)



下倉田町内会 新春ボウリング大会

日時: 2012年2月5日(日) 午前 会場: 戸塚ボウリングセンター 9レーン使用 子供からお年寄りまでが31名参加し、楽しいひとときを過ごしました。



上位入賞者に感想を聞きました。

- 優勝 小宮山豊茂さん(ハンディ込 364点) 私は年寄りだから、ハンディで優勝させてもらいました。年寄りに気を使ってくれるありがたい町内会だと思います。
2位 田代章彦さん(ハンディ込 359点) 昨年優勝して、優勝カップを家に飾らせていただきました。ところが3月の地震でカップがひっくり返ってしまいました。(それで今回は優勝を逃したか?)
3位 桶崎正憲さん(ハンディ込 355点) 楽しく参加できました。来年も健康で参加できるようにします。

「坂の上の雲」バスツアー&ウォーク

昨年11月23日に下倉田町内会主催のバス&ウォークを実施しました。43名の方に参加いただき誠にありがとうございました。(定員45名)

目的は三浦半島「坂の上の雲」をイメージした日露戦争歴史探訪ツアーで、横須賀・三浦を訪れました。

最初は三笠公園でロシアバルチック艦隊を打ち破った、連合艦隊の旗艦「三笠」を見学。

その後、どぶ板通りに向かい、通りのアメリカ米兵相手の店など異国なフインキを散策。二百三高地に送った砲の砲台があった観音崎公園で食事をし、その後は三崎の魚介市場「うらり」でおいしいマグロの刺身などグルメな買い物をしました。

続いて最近できたばかりの「J.Aすかなごっそ」で三浦野菜と加工品の買い物。最後の帰路に就いたバスの中で賞品沢山のビンゴゲーム大会で大騒ぎ。

天気も恵まれ暖かく、三浦半島の海と自然に囲まれた、充実の一日で、皆さんも満足されたことと思います。

雨が降った時でも楽しめる内容のツアーを用意しますので、今後とも参加の程お願い致します。



下倉田町内会 庶務部長 吉原憲孝

### 資源回収を通じて 住みよい町にしよう!

高田美和子

私は、二年前に、子ども会の役員を務めさせていただいてから、資源回収に関する知識と理解が深まったと思います。

皆様は、資源ごみとして出された物が、どのように使われているか、ご存じですか？

横浜市資源循環局のホームページによると、古紙は、異物の除去などを行った後に、新聞・雑誌・段ボールなどとして再利用されます。

古布は、国内または国外で古衣料として再利用されたり、原料の繊維に戻してフェルトとして再利用されることもありま

す。家庭から出た不要な物が、世の中の役に立ちながら循環されていくリサイクル活動は、素晴らしいですね。

電子機器製品などは、商品サイクルが速く、次々に買い替えが必要なので、今後は、なおのこと、資源ごみを再生利用する

**子供会会計報告  
古紙・古布回収**

平成23年度の資源回収による利益は次の通りでした。

倉田子ども会：367,320円  
豊田子ども会：495,420円

これらの収益は主に子ども会の活動に有効利用されていますので、今後とも皆様のご理解、ご協力をお願いします。

リサイクル活動は、今後も続けていくべき活動の一つだと思います。と同時に、物を長く使い続けていく精神も、大事にしなければなりません。

町内の皆様のご尽力のおかげで、回収場所を集められる古紙や古布も、年々増え続けているのではないのでしょうか。

ここで、二年前の苦労話の一つ。年始の回収日の告知に手違いがあり、本来の回収日より早く、大量の古紙・古布が集まってしまったことがありました。子ども会の役員たちは、大慌て。総出で、夜間に回収場所を見回りました。古紙などの放置は、夜間に放火の標的となる場合が多いので、とても危険なのです。

結局、翌日に回収業者が動いてくださり、事なきを得ました。地域防犯の観点からも、資源回収のルールを守ることは重要です。

「整理・整頓・清掃」の3Sに気を付けながら、子どもたちに誇りを持って引き継げる、心地よい安全な下倉田町を、これからも守り続けていきたいですね!

### 家庭防災員について

内山 愛子

家庭防災員って、ご存知ですか？

家庭防災員制度は、自助・共助・公助の視点に立ち、自助から始まり地域防災の担い手にもつなげる研修制度として、横浜市の安全及び安心に資するため、一人でも多くの市民が防火・防

災に関し、必要な知識及び技術を身に付けることを目的としています。

下倉田でも約三十名の家庭防災員が研修を受けたり、町内の防災関連の訓練に参加しています。

東日本大震災からまだ一年、新たな震災もあると予測されています。その時は、少しでも被害を少なくしたいものです。

それでは震災があった時、私たちはどう行動すればよいのでしょうか？

また、水は、トイレはどうすればよいのでしょうか？  
色々な事を知って用意をすることで、少しでも被害を減らしましょう。

**■地震に備えて**  
下倉田地区防災拠点  
地域防災拠点(災害時避難場所)  
倉田小学校  
対象地区  
上倉田町・下倉田町  
豊田中学校  
(医療救護拠点併設校)  
対象地区 下倉田町

**■災害時の水**  
緊急給水栓 倉田小学校  
水はありますが、容器物(ポリタンク等)は各自用意ください。  
備蓄する場合：備蓄の目安は、飲料水用で一人一日3ℓ、3日分で9ℓです。  
(水道局でペットボトル水がまっ子どうし」と「災害備蓄用水缶」を販売中)

**■下倉田町の海拔**  
下倉田町内会館前で海抜約14mです。  
由比ヶ浜から直線距離で約8kmです。

**■家庭防災員の募集**  
老若男女どなたでも参加していただけます。  
あなたも家庭防災員になって、生活にも役立つ色々な研修を受けてみませんか。  
次年度募集は来年一月ごろを予定しています。

横浜市消防局の家庭防災員制度のリンク：  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/kabou/>

### 下倉田のイメージキャラクターが力石に決まりました



### 下倉田町内会のイメージキャラクター決まる

下倉田町内会の象徴としてイメージキャラクターを募集し、多くの方に応募いただきました。

大わらじや紅葉滝など下倉田の名所をテーマにした作品が多くありましたが、優劣が付けがたく、吉原理沙子さん(15歳)の書かれた力石がとてもかわいかったので採用となりました。

応募いただきました方々に、お礼申し上げます。

新聞、ホームページ、Tシャツや小物などに下倉田のシンボルキャラクターを載せて、町内会の象徴として利用したいと考えています。



### ぼんぼり書画の募集

張り切って応募しよう!

今年の納涼夏祭りは7月28日(土)募集案内は六月の回覧で紹介いたします。(6月6日以降回覧)

今年も、皆様から沢山応募いただくために作品の締め切りまでに十分な時間をとっています。

張り切って応募してください。  
版画、水彩画、水墨画、書道など  
題材は自由に描いてください。  
用紙サイズ：  
40・9cm×31・8cm

申し込み締め切りは6月末  
・用紙の配布は、7月7日(土)  
・作品の提出締め切り 7月25日  
応募者には記念品を差し上げます。

### 編集後記

江戸時代から明治時代にかけて、力石を用いた力試しが日本全国の村や町でごく普通に行われていた。しかし、二十世紀後半に力試しの習俗は廃れ、かつてあった力石のほとんどは行方不明になったと噂だ。

下倉田の力石は、バス停「力石」のすぐそばに立て看板付きでしっかりと保存されている。

下倉田と云つ町(村)は、精神的にも裕福で民度の高い歴史を持っているよつである。

たとえば、下倉田八幡神社は代々の氏子会がしっかりと守ってきた。「南谷戸おおわらじ」も、大正初期から「和楽路会」の手によつて3年毎に作り替えられ、大切に保管されている。

また、町内の活動も盛んで、防災防犯活動、夏祭りや運動会、御興・獅子舞、等々、年中行事も盛りだくさんである。

わがまち下倉田が、文化度の大変高い歴史を持った町であること誇りに思うとともに、未来にもこの気風を是非つなげていきたいものである。

(中澤 清)